

「令和8年度日米共同統合演習（実動演習）について」

統合幕僚監部 報道発表資料

JAPAN JOINT STAFF PRESS RELEASE

<http://www.mod.go.jp/js/>

（お知らせ）

令和8年9月29日
統合幕僚監部



令和8年度日米共同統合演習 「Keen Sword 27」について

自衛隊と米軍は、下記のとおり令和8年度日米共同統合演習を実施します。
本訓練は、強固な日米同盟に基づき、日米の共同統合運用能力の維持・向上を図るものです。
本演習を通じ、自衛隊と米軍は、地域の平和と安定に積極的に貢献するための態勢と能力を維持・強化していきます。

記

1 演習の目的

各種事態における日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、日米の共同統合運用能力の維持・向上を図る。

2 実施時期

令和8年10月19日（月）～10月29日（木）

3 実施場所

- （1）自衛隊施設並びに在日米軍施設及び区域
- （2）民間空港及び港湾
- （3）我が国の公有地及び民有地等
- （4）我が国周辺海空域

4 統裁官

- （1）自衛隊：統合作戦司令官 海将 俵 千城
- （2）米軍：太平洋艦隊司令官 海軍大将 ステファン・ケーラー

5 主要訓練項目

- （1）統合防空ミサイル防衛訓練
- （2）共同統合対艦戦闘訓練
- （3）陸上作戦訓練
- （4）海上作戦訓練
- （5）航空作戦訓練
- （6）水陸両用作戦訓練
- （7）サイバー攻撃等対処訓練
- （8）情報戦訓練
- （9）統合通信訓練

- (10) 宇宙状況の把握等に関する訓練
- (11) 統合電磁波作戦訓練
- (12) 統合後方運用訓練
- (13) 機動分散運用訓練
- (14) 重要施設等防護訓練
- (15) 実証実験

6 実施部隊等

(1) 自衛隊

ア 幕僚監部等

統合幕僚監部、陸上幕僚監部、海上幕僚監部、航空幕僚監部及び情報本部

イ 陸上自衛隊

陸上総隊、各方面隊等

ウ 海上自衛隊

自衛艦隊、各地方隊等

エ 航空自衛隊

航空総隊、航空支援集団等

オ 共同の部隊

統合作戦司令部、自衛隊情報保全隊、自衛隊サイバー防衛隊、自衛隊海上輸送群等

(2) 外国軍隊

ア 米 軍

太平洋軍、太平洋陸軍、太平洋艦隊、太平洋空軍、太平洋海兵隊及び在日米軍

イ 豪 軍

国防軍統合作戦本部等

ウ その他

加軍、仏軍、独軍、蘭軍、新軍、比軍

7 演習参加規模（自衛隊）

人員約45,000名、車両約6,100両、艦艇約40隻、航空機約260機

8 その他

日米共同統合演習は昭和60年度に開始され、おおむね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施しており、実動演習は今年度で18回目である。